

もう、無関心ではられない まだ、間に合います。

福島で起きてしまった原発大事故。

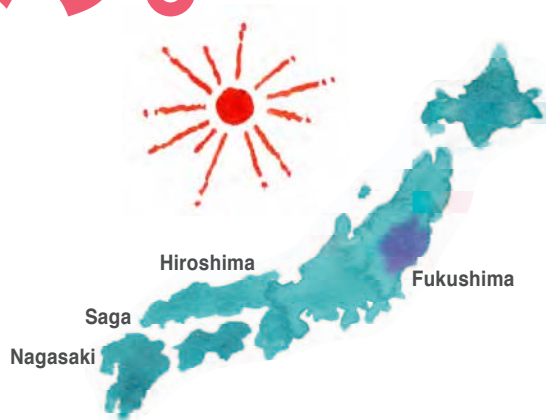
放射性物質が今も空を、海を、大地を汚し続ける——。

原爆を落とされた直後から広島で被爆者救援活動を行ってきた医師がいます。

『原発も原爆も一緒だ』と警鐘をならし続けてきました。

被爆医師の魂の言葉を、 今こそ。

「—皆さんがこれから、これからの自分たちの生涯、これから皆さんが持つ子ども、孫、その上に放射線の恐ろしさや不安を絶対にさせないような国にこの国をつくりかえる、これがわたくしが一番大切な事だと思っています—」(肥田さんの言葉より。2011年4月24日、広島の集会にて)



ひだしゅんたろう 肥田舜太郎さん講演会

2011
12/17 (土)

13:00 開場 13:30 開会 参加費500円(申込み不要、高校生以下無料)

託児ご希望の方は12月9日(金)までにお申し込みください(詳細は裏をご覧ください)

佐賀県駅北館3階ホール

佐賀市神野東二丁目6番10号(佐賀駅北口より徒歩5分) tel 0952-97-9767

福島の声とともに——

子どもの命を守るため、親子で佐賀・九州に避難してきた方から、福島で起きた本当のことを語っていただきます

主催・お問い合わせ

玄海原発プルサーマル裁判の会

佐賀県佐賀市伊勢町2-14

TEL 080-5254-6866(江口)

090-3325-0651(於保)

